

# 特別 委員会報告

## ILC調査特別委員会

2月26日の委員会では、現在市で策定が進められている「奥州市ILCまちづくりビジョン」について調査しました。

このビジョンは、ILCがもたらすであろう生活の在り方や教育文化の変

化などを新たな資源として、奥州市のまちづくりを飛躍的に引き上げることを目指し策定が進められているものです。目指すべき将来像として、大きく3つの都市像を掲げ、これに対応する3つの行動指針、さらにこれにつながる取組みという形で組立てられております。現在、策定に向けての最終段階ということで、パブリックコメントの

内容を加味しながら、3月中の決定を目指しているとのことでした。

関係機関・団体との協力が不可欠であり、さら

なる市民への意識付けが大切であるという意見が出されました。



2月26日 ILC調査特別委員会

## 奥州万年の森特別委員会

1月15日の委員会では、奥州金ヶ崎行政事務組合に対し、一般廃棄物最終処分場整備に伴う発生土砂に関する調査を行なうため記録提出を求めることについて議決しました。

2月8日の委員会では、先に奥州金ヶ崎行政事務組合に要求していた提出記録の確認、市長に対しプロポーザル企画提案書など記録提出を求めることについて議決しました。また全委員を

3つの班に振り分け、具体的な調査や情報共有を図るための作業分担編成を行ないました。

3月22日の委員会では、市長に対し非開示になっている資料の記録提出を求めること、調査照会事項により回答を求めることについて議決しました。

事実関係を究明するため提出書類の分析・調査を精力的に行っておりましたが、今後証人の出頭を求め事情聴取を実施するなど引き続き調査する必要があることから、平成28年度における調査経費の限度額について申し上

しました。

本調査を進めるにあたり、幹事会を6回、助言弁護士との打合せを3回開催するなど専門的な助言をいただきながら進めました。



3月22日 奥州万年の森特別委員会

## 市議会市政調査会

### 「住民自治の根幹は議会」

議会改革に関する講演会開催

市議会市政調査会（会長・中澤俊明議員）は2月2日に、山梨学院大学法学部の江藤俊昭教授を講師に迎え、「通年議会による議会運営」と題して開催しました。「住民自治の根幹は議会。地域経営、自治体経営にとって大事なことは全て議会が権限を持っている。これをしっかりと行使するためには通年的な発想が必要だ」と強調し、「定例会ごとに切れてしまう従来型ではその権限をしっかりと行使できないはず」とも話した。「通年のに議会が動かない限り、悪く言えば追認機関、市長たちと政策競争できない」と通年議会を導入すべきと講演しました。



講演する江藤教授